

## 代表者のことば

# 世界や日本の姿を知り、 「これからの社会を生き抜く力」を育む教科書

科学の進展やグローバル化、情報化によって、私たちの生活は大きく変化しました。地球上で今起きていることをいながらにして知ることができ、世界中の食材が日々の食卓を彩り、世界の人々と出会う機会も増えました。一方で、世界の人々すべてがそれらの恩恵を十分に受けているわけではありません。私たちは地球で限りある資源や空間を分かち合って生活しています。地球に暮らす私たちが平和に暮らしていくためには、空間的に不均衡な世界の今の姿を知り、互いに理解を深め、文化の多様性を尊重する意識や態度が求められます。また、私たち人類は、環境問題、人口問題、食料問題、貧困や格差の問題など、解決すべき多くの地球的課題に直面しています。さらに、自然災害に対処するために、自然の仕組みや身近な環境の特徴を正しく捉えたうえで、一人一人が行動を考えることが重要です。

この教科書は、ローカルからグローバルまでバランスよく世界を認識する知識や技能を育て、持続可能な社会を実現するために欠かさない力を養うことができます。そして、問いを立て、それを探究する学習を積み重ねることで、さまざまな視角から世界や日本の姿を柔軟に捉える思考力を身に付けられます。私たち編集委員が熱い思いと自信を持って編集したこの教科書が、これからの社会を生き抜く確かな力につながっていくことを願っています。



島津 弘(しまづ ひろし)  
立正大学教授  
1962年生。東京大学理学部卒業。博士(理学)。  
■著書/『地理を学ぼう 海外エクスカッション』、『ポブラディア プラス 世界の国々(全5巻)』(代表監修)、『上高地の自然誌』(共著) ほか。

## 編集に携わった人々

### ●代表

島津 弘 立正大学教授

### ●顧問

荒井 正剛 東京学芸大学特任教授  
関 裕幸 東京都立小石川中等教育学校主任教諭

秋澤 夢子 いの町立伊野中学校教諭  
五十嵐辰博 千葉大学教育学部附属中学校教諭  
石高 吉記 埼玉大学教育学部附属中学校教諭  
今村 吾朗 練馬区立石神井西中学校主任教諭  
入子 彰子 元文京区立音羽中学校指導教諭  
岩本 鷹薫 福井市明倫中学校教諭  
上園 悦史 東京学芸大学附属竹早中学校教諭  
江口 麻衣子 新潟市立内野中学校教諭  
江間 史明 山形大学教授  
大石 太郎 関西学院大学教授  
緒方 浩臣 横浜国立港中学校校長  
岡部 誠 板橋区立志村第一中学校校長  
大西 弘員 広島大学附属東雲中学校教諭  
小野 大助 福山市立神辺中学校教頭  
勝田 俊輔 東京大学教授  
鎌倉 夏来 東京大学准教授  
唐木 清志 筑波大学教授  
河野真理子 早稲田大学教授  
木村 博一 広島大学名誉教授  
草原 和博 広島大学教授  
久保 五月 高知県立高知国際中学校教諭  
栗原 久 東洋大学教授  
呉羽 正昭 筑波大学教授  
小谷 勇人 春日部市立武里中学校教諭  
児玉 修 九州保健福祉大学学長  
小林 大介 燕市教育委員会指導主事  
近藤 晃史 福山市立想青学園教諭  
近藤沙耶香 港区立港南中学校主任教諭  
今野日出晴 岩手大学教授  
佐川 英治 東京大学教授  
佐久間敦史 大阪教育大学准教授  
迫 真也 広島市立祇園中学校教諭  
佐々木智章 早稲田大学高等学院教諭  
佐藤 弘直 厚木市立依知中学校教諭  
佐藤 全敏 東京女子大学教授  
重 秀雄 広島市立中広中学校主幹教諭  
篠田 穰 福岡教育大学附属福岡中学校主幹教諭  
篠塚 昭司 東京学芸大学附属世田谷中学校主幹教諭  
白澤 保典 東村山市立東村山第四中学校主任教諭  
須釜 昇平 八千代市立村上東中学校教諭

高橋慎一郎 東京大学史料編纂所教授

矢ヶ崎典隆 東京学芸大学名誉教授  
戸波 江二 早稲田大学名誉教授  
小原 友行 福山大学教授  
関宮 陽介 京都大学名誉教授  
坂上 康俊 九州大学名誉教授

菅谷 昌弘 札幌市立平岡緑中学校教頭  
薄田 和弥 札幌市立元町中学校教諭  
鈴木 拓磨 豊島区立千登世橋中学校主幹教諭  
関戸 明子 群馬大学教授  
関 真規子 文京区立第六中学校指導教諭  
瀬戸 康輝 広島市立大塚中学校教諭  
早福 史 新潟市立高志中等教育学校教諭  
高田 孝雄 足立区立東横瀬中学校指導教諭  
高橋 晶 千葉大学教育学部附属中学校教諭  
高橋 達弥 足立区立第十四中学校主幹教諭  
高山 知機 世田谷区立太子堂中学校校長  
田崎 義久 東京学芸大学附属小金井中学校教諭  
田中 将吾 福山市立済美中学校教諭  
田中 伸 岐阜大学准教授  
谷藤 良昭 千葉市立稻毛国際中等教育学校教諭  
功 学 学習院大学教授  
千葉 一晶 調布市立第四中学校副校長  
坪田 益美 東北学院大学准教授  
寺本 誠 お茶の水女子大学附属中学校教諭  
土肥大次郎 長崎大学准教授  
豊嘉 啓司 福岡教育大学教授・副学長  
内藤 圭太 東京学芸大学附属竹早中学校教諭  
中尾 学 台東区立上野中学校主幹教諭  
中北 浩爾 中央大学教授  
中平 一義 上越教育大学教授  
中村 達矢 福岡市立金武中学校教諭  
晃介 福井市光陽中学校教諭  
新坂 大輔 清瀬市立清瀬第二中学校主幹教諭  
服部 一秀 山梨大学教授  
濱田 幸伸 高知大学教育学部附属中学校教諭  
濱本 大悟 江東区立深川第八中学校主任教諭  
東野 茂樹 葛飾区立堀切中学校副校長  
藤井 辰典 松原市立松原中学校教諭  
藤瀬 泰司 熊本大学教授  
藤田 詠司 高知大学教授  
藤田 淳 東村山市立東村山第二中学校主幹教諭  
藤原 一弘 愛媛大学准教授  
星野 勇悟 大東市立四条小学校首席  
細野 悠司 埼玉大学教育学部附属中学校教諭  
前田 良介 福山市立培遠中学校教諭

谷口 将紀 東京大学教授

真壁 佑輔 札幌市立上野幌中学校教諭  
牧 紀男 京都大学防災研究所教授  
松澤 克行 東京大学史料編纂所教授  
松下 誠 福岡市立住吉小中学校校長  
松多 信尚 岡山大学教授  
松原 健明 横須賀市立武山中学校総括教諭  
溝口 和宏 鹿児島大学教授  
峯 明秀 大阪教育大学教授  
向井 敏幸 福井市足羽中学校教諭  
毛利 透 京都大学教授  
森川 禎彦 福井大学教育学部附属義務教育学校教諭  
森山 幸一 福岡市立友泉中学校教諭  
諸富 徹 京都大学教授  
山貝 洋輔 新潟大学附属新潟中学校教諭  
山田 秀和 岡山大学教授  
湯澤 規子 法政大学教授  
吉田圭一郎 東京都立大学教授  
吉水 裕也 兵庫教育大学理事・副学長  
渡辺 宏輝 札幌市立明園中学校教諭  
渡邊 頼史 福山市立城南中学校教諭  
鵜淵 翔大 札幌市立栄町中学校教諭

### ●ICTの活用に関する校閲

稲垣 忠 東北学院大学教授  
緒方 広明 京都大学教授  
小柳和喜雄 関西大学教授  
小崎 誠二 奈良教育大学客員准教授  
泰山 裕 鳴門教育大学大学院准教授  
寺澤 孝文 岡山大学教授

### ●特別支援教育に関する校閲

田中 良広 帝京平成大学教授  
道面 美紀 墨田区立本所中学校指導教諭

ほか1名  
東京書籍株式会社

●色彩デザインに関する編集協力  
色覚問題研究グループぱずてる

教科書活用  
Q & A 更新中！



\*「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

The United Nations Sustainable Development Goals web site:  
https://www.un.org/sustainabledevelopment/

The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.

## 東京書籍

パンフ+αの情報を特設サイトで！

東京書籍 中学校 地理



この資料は、令和7年度用中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

令和7年度  
中学校

内容解説資料

新編

新しい社会

# 地理



東京書籍

中学校社会科用 文部科学省検定済教科書  
2 東書 地理002-72

## 東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1  
支社・出張所 Tel:03-5390-7373(社会編集部) Fax:03-5390-6015  
札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467  
金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260 大阪 06-6397-1350  
広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770  
那覇 098-834-8084  
ホームページ https://www.tokyo-shoseki.co.jp  
教育情報サイト 東書Eネット https://ten.tokyo-shoseki.co.jp

令和7教 内容解説資料





今と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて  
「これからの社会を 生き抜く力」を育む





# 「新編 新しい社会 地理」3つの特色

## 特色

### 1

課題解決的な学習に  
わくわくをプラス！



わくわくを誘う 学びの入り口 ..... 8  
1時間の学習の流れを「見える化」 ..... 12  
学びを実感！学習のまとめ ..... 14

## 特色

### 2

紙とデジタルで  
学びがアップデート！



さまざまなシーンに最適な  
QRコンテンツ ..... 18  
多彩なQRコンテンツで  
学びをサポート ..... 20

## 特色

### 3

生徒一人一人と  
社会がつながる教科書



一人一人の資質・能力を育てる工夫 ..... 22  
今と向き合い これからを考える教科書 ..... 24  
誰一人取り残されない学びのために ..... 26

「新編 新しい社会 地理」の  
編集にあたって  
— 編集部からのメッセージ —



この教科書は、課題を自分たちで見つけ、考え、伝えるというプロセスを大切にしながら、現代社会を学んでほしいとの思いで、多くの人の力を集めて作られました。地球上のさまざまな場所で暮らす人々や、その生活の舞台を知ることで、今を知り、どこに課題があるのか、それはなぜ起こっているのか、どうしたら解決に向かうのか、これからの社会の在り方を一緒に考えられるように紙面を工夫しました。中学生のみなさんに、地理の学びから世界を知り、探究することの楽しさや奥深さを感じてもらえることを願っています。

## 目次

教科書の構成と学びの流れ	6	教師用指導書・学習者用デジタル教科書のご案内	28
特色① 課題解決的な学習にわくわくをプラス！	8	観点別特色一覧	30
特色② 紙とデジタルで学びがアップデート！	18	単元構成と配当授業時数	35
特色③ 生徒一人一人と社会がつながる教科書	22	代表者のことば	



「問い」を中心に課題解決的な学習を実現！

# 教科書の構成と学びの流れ

単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、単元を貫く **探究課題** を設定しました。1時間ごとの **学習課題** と単元をふり返る活動 (**探究のステップ**) を設けることで、段階を踏んでスムーズに探究課題を解決できる構成になっています。

## 問いの構造イメージ



## 課題をつかむ

動機付け

方向付け

## 導入

導入の活動では、章や節の学習を通して追究する「探究課題」を設定します。生徒が自ら課題を設定することで、学習の動機付けや学習の見通しの方向付けを行います。



**探究課題**  
章や節を貫く問い

▶ 本書 p.8~11

## 課題を追 究する

情報収集

考察

## 展開

展開では、地理的な事象等の相互の関連を見たり、社会に見向けて考察したりする学習を積み重ねます。



**学習課題**  
1時間の問い

**チェック&トライ**  
1時間のふり回り

▶ 本書 p.12~13

## 課題を解決する

ふり回り

まとめ

## まとめ

これまで学んだことをふり回り、考察したことや構想したことを自分の言葉でまとめ、「探究課題」の解決に取り組みます。



**探究のステップ**  
探究課題解決の前に

**探究課題**  
章や節を貫く問い

▶ 本書 p.14~17



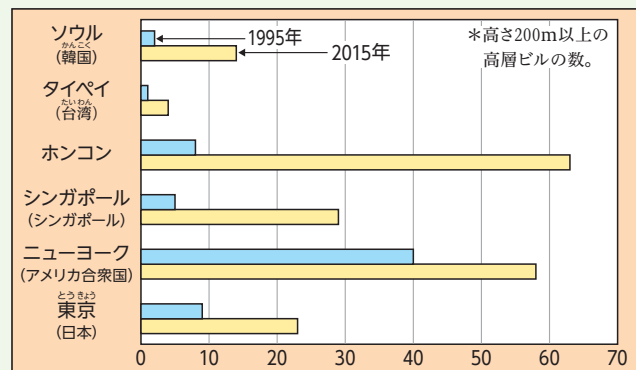
# わくわくを誘う 学びの入り口

教科書 p.60～61の  
実寸大

わくわくしたら、  
次のページを  
見てほしいのよ



1 観光客も多く訪れるシンガポール (2018年)



## 聞かせて！中学生

### 授業は早く終わるけど

シンガポールの ジャクソン さん

私の中学校は、朝の7時30分に始まって、13時30分には終わります。終わる時間は早いけど、シンガポールでは成績が優秀な生徒は授業料が免除されたり奨学金がもらえたりすることが多いから、放課後はみんな、塾や習い事で大いそがしです。最近学校では、生徒が自分たちでする「掃除の時間」が始まりました。日本の学校のやり方がモデルなので、日本にならって「SOJI」とよんでいます。



「世界の諸地域」では、地域の様子を想像しながら学習を始められるよう、印象的な「一枚の写真」を採用し、地域の姿を映し出す「世界の窓」を新設しました。生徒の“わくわく”とともに、学びの見通しを持つことができます。

## 1 アジアの自然環境



3 熱帯雨林に生息するオランウータン (インドネシア スマトラ島)

## 2 アジアの都市と人口



4 高層ビルが立ち並ぶベキン (中国)

## 3 アジアの産業



5 スマートフォンの組み立て工場 (インド)

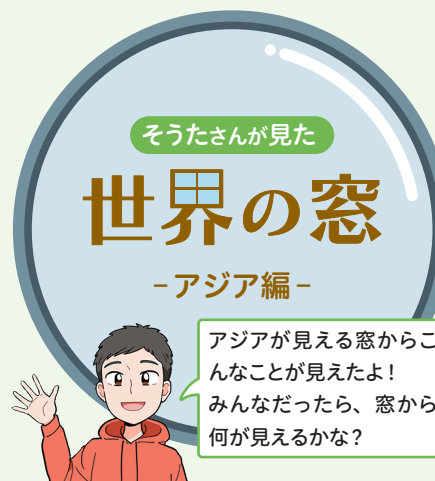
## 5 アジアの生活と文化



どんな材料から作られているのだろう？



7 インド南部で食べられているさまざまな種類のカレー

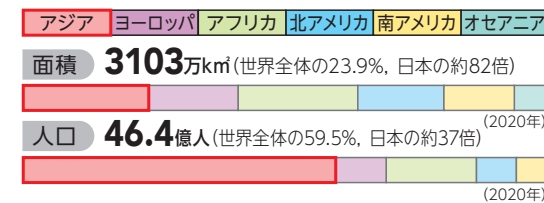


## 4 アジアの交通と通信



6 大都市での交通渋滞 (インドネシア ジャカルタ 2019年)

## 6 世界の中のアジア



## ▶ アジア州で学んでいくこと

1 アジア州をながめて自然環境や歴史、産業の特色

p.62～63でアジア州の探究課題を立てよう！

2 巨大な人口を支える中国「世界の工場」とよばれる工業大国の発展と課題  
3 急速に変化する韓国工業製品や文化の輸出で発展する隣国とその課題

4 都市化が進む東南アジア工業化と都市化が進む中で見られる課題  
5 人口増加が続く南アジアICT産業で急成長するインドとその課題  
6 資源が豊富な西アジア・中央アジア資源にたよらない国づくりとその課題

アジアの国から  
こんにちは！

中国「你好」(中国語) 韓国「안녕하세요」(韓国語) マレーシア「Selamattengahari」(マレー語) インド「नमस्ते」(ヒンディー語) モンゴル「Сайн байна уу」(モンゴル語) トルコ「Merhaba」(トルコ語)



# 主体的な学びにつながる 導入ページ

「世界の諸地域」「日本の諸地域」の導入のページでは、概観ページと次の見開きを使って、**生徒が主体的に課題をつかめる**構成にしました。



▲ p.60～61

新設 NEW

現地の中学生が語るエピソード満載！  
「聞かせて！中学生」 計13か所

聞かせて！中学生

授業は早く終わるけど  
シンガポールの ジャクソン さん

世界や日本の各地の中学生が自分が暮らす地域を語るコラムを新設。地域についてより身近に感じ、興味・関心を持てるようにしました。

新設 NEW

単元の見通しを持たせるコーナー

これから学習する内容を分かりやすく示し、見通しを持って学習に取り組めるようにしました。



▲ p.62～63

リニューアル

課題の設定場面を  
対話形式で分かりやすく提示

主体的・対話的な学びから生徒自身が課題をつかめるよう、課題設定の場面には対話の例を示しました。

アジア州の生活・文化

多様な民族と多彩な文化

日本や朝鮮半島など、東アジアは、漢字をはじめ、古くから中国の文化の影響を受けてきました。米を主食にする地域が多く、食事で使う点でも共通しています。東南アジアでも、華人とよばれる中国系の人々が移り住んで銀行や商店を営み、中国の文化を広げました。一方で、ゴム園などで働くインド系の人々によってヒンドゥー教もたらされ、香辛料などをあつかう西アジアの商人によってイスラーム(イスラム教)が伝えられ、スペインやアメリカの植民地になったフィリピンを中心にキリスト教もまりました。また、西アジアでは、主にアラビア語が使われ、イスラームが広く信仰されるなど、広大なアジアでは多彩な文化が見られます。

「経済成長」からアジア州の探究課題を見つけよう！

アジアには、世界の人口の約60%が住んでいます。20世紀の後半以降、農村から工業化の進んだ都市へ多くの人々が移り住み、アジアの多くの都市で急速に人口が増加しました。これにより、豊富で賃金の安い労働力を求めて、外国企業が多く進出するようになりました。また、人々の収入が増え、より多様な商品を購入できるようになることで、商品を売る市場としても、アジア州の魅力が高まりました。一方で、人口の集まる都市では、住宅の不足や交通渋滞、大気汚染など都市問題も発生しています。

探究課題 アジア州の経済発展は、地域にどのような影響をあたえているでしょうか。

アジアでは季節風の影響をどのように受けているか、本文から読み出しましょう。

62～65ページの資料と本文を参考にして、上の探究課題の答えを予想しましょう。

63

▶ 導入ページのQRコンテンツについては、本書p.18～19をご覧ください。



# 1時間の学習の流れを「見える化」

本文や資料、「チェック＆トライ」、インデックスやQRコードなど、**紙面の要素を定位置に配置**。学習の流れを「見える化」したことで全ての生徒にとって学習に取り組みやすい紙面にしました。



## 1時間の学習の流れ

- 導入資料**  
1時間の課題をつかむきっかけとなる資料を大きく掲載しています。
- 学習課題**  
このページで学習する内容について、見通しを持つことができます。
- 本文**  
学習内容を分かりやすく文章にしています。重要な用語などは太字で示しています。
- チェック＆トライ**  
1時間の学習の最後に取り組んで、学んだことをふり返ります。

新設  
NEW

生徒の興味・関心を誘うサブタイトル

世界のパソコン、ほぼ中国製？

本時の内容の上に、生徒の興味・関心を誘うサブタイトルを設けました。



1 帰省する人々で混雑するシャンハイ（上海）の駅（中国 2018年）

2 世界のパソコン、ほぼ中国製？  
巨大な人口が支える中国

2 中国の経済はどのように発展したのでしょうか。また、どのような課題があるのでしょうか。



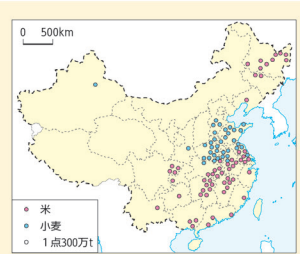
D-MOVE  
ウェブ＆トライ

新設  
NEW

QRコードを定位置に掲載！

学習課題やタイトルの隣にQRコードを掲載。定位置に置くことで、迷わずにいつでもQRコンテンツを活用できます。

詳しくは、本書p.20～21をご覧ください。



2 中国の穀物の生産（中国統計年報）

もっと解説 経済特区  
経済特区は中国の沿岸部に特別に設けられた地区のことで、外国から資本や技術を積極的に呼びこむために税金を安くするなどして、多くの外国企業が進出しました。

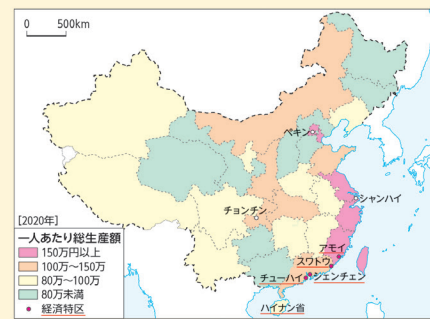
巨大な人口がもたらす発展  
中国の人口は約14億人で、東部平野に集中しています。中国人の約90%が漢族で、ほかの少数民族は主に西部で生活しています。

東部の平野では農業が盛んで、長江流域の華南の地域で、稲作や茶の栽培が、黄河流域の華北の地域や東北地方では、小麦や大豆などの畑作が行われています。農作が育ちにくい西部は牧畜が中心です。

1970年代半ばまで、中国の農業や工業は政府の計画に沿って進められていましたが、国の経済的な発展につながりませんでした。そこで、1980年代ごろから改革が進められ、シェンチェン（深圳）やアモイなどに、外国企業を受け入れる経済特区を設けたり、シャンハイ（上海）やティエンチン（天津）などに、外国の企業と共同で経営する工場を造ったりして、工業化を進めました。こうして中国は、外国企業の進出を積極的に受け入れながら、巨大な人口を背景に、賃金が安く豊富な労働力を生かして工業製品を生産し、世界各地に輸出する工業国に成長しました。ことで、「世界の工場」とよばれるようになりました。

4

中国の工業が発展し、「世界の工場」とよばれるようになった理由を、本文から読み出しましょう。



3 中国の地域別の一人あたり総生産額（中国統計年報 2021年）

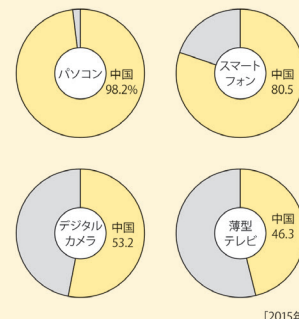
3で、一人あたりの総生産額が高い地域が沿岸部に集まっている理由を考えましょう。

長年にわたる「一人っ子政策」などの影響で人口増加が抑えられてきたため、少子高齢化も急速に進んできています。

都市化と環境問題  
経済の成長によって、農村から都市へ労働者が集まったことで、多くの都市では人口が増加し、都市の周辺では工場や住宅の建設が相次ぎました。こうした急速な都市化に環境対策が追いつかず、工場や自動車、家庭からの排煙や排ガス、排水による大気や河川、湖の汚染など、深刻な環境問題が起きました。中国政府は、工場への規制を強めたり、再生可能エネルギーを積極的に導入するなど、環境対策に力を入れています。

格差の拡大と内陸部の開発  
沿岸部の都市が成長する一方で、工業化が後れている内陸部の農村には仕事と収入を求めて都市に出かぎに行く人々が多くいます。中国では、こうした沿岸部と内陸部との経済格差の広がりが大きな問題になっています。中国政府は、地域間の格差をなくすために、2000年ごろから内陸部の大規模な開発を始めました。鉄道や道路などの交通網を整備し、自動車工場などを建設することで、多くの人に仕事を生み出す産業の育成にも力が入れています。

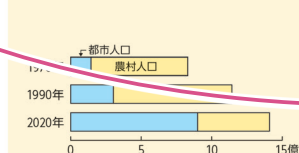
中国の経済成長によって起こった課題に対する、対応策について説明しましょう。



4 世界の電子機器の生産に占める中国の割合（電子情報技術産業協会資料）



5 大気汚染が悪化した日のペキンの様子（中国 2018年）



6 中国の都市人口と農村人口の移り変わり（中国統計年報）

もっと解説 一人っ子政策

1970年代末から、一組の夫婦の子どもを一人に制限する「一人っ子政策」が行われてきました。少子高齢化（p.283）が急速に進んだため、全ての夫婦が3人までの子どもを持つことが認められるようになりました。

新設  
NEW

検索に便利なインデックス

学びのまとまりごとにインデックスを付け、検索性を高めました。

リニューアル

整理された活動コーナー

3で、一人あたりの総生産額が高い地域が沿岸部に集まっている理由を考えましょう。

小学校の社会科や「スキル・アップ」で身に付けた技能を活用しながら資料を読み取ったり考えたりするコーナーに、🔍を付けました。また、見方・考え方を働かせる視点の例は、🔄で示しました。

▶ 本書p.22もご覧ください。

▶ 本文ページのQRコンテンツについては、本書p.18～19をご覧ください。



# 学びを実感！ 学習のまとめ

学習のまとめのページを大幅に見直しました。  
段階的に取り組むことで、単元を貫く探究課題の解決につなげます。  
**問いを軸にした課題解決的な学習**によって地域の特色を捉えることができます。



## 探究課題解決の流れ

- 1 確かめよう**  
単元で学んだ知識を地図などで確認します。
- 2 ふり返ろう**  
確認した知識をもとに、学習をふり返ります。
- 3 まとめよう**  
思考ツールなどを用いて考えを整理し、探究課題の解決につなげます。
- 4 探究課題を解決しよう**  
3でまとめた自分の考えをもとに、探究課題の解決に取り組みます。

### 評価の観点の明示

「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のアイコンを示し、評価の観点との関連が分かりやすくなりました。

- 知識
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

### 自分の言葉で用語を説明！ ワードチェック

本文に登場した用語を自分の言葉で説明できるか確認するコーナーです。学習のふり返りや、言語活動にも活用できます。

まとめの活動

## アジア州の学習をまとめよう

マークのあるものは右のコードからデジタルコンテンツにアクセスできます。

**探究課題**

アジア州の経済発展は、地域にどのような影響をあたえているでしょうか。

分からないときは、下の「ワードチェック」や教科書をふり返りましょう。

**1 確かめよう** 知識

1. A～Fに当てはまる国名を答えましょう。  
2. ①～⑥に当てはまる語句を答えましょう。

① **アジア州を「か」めて**  
p.62～63

- 降水量が多い平野では【 ⑦ 】を中心とした農業
- 【 ⑧ 】という季節風の影響で、季節がはっきりしている

② **巨大な人口を支える中国**  
p.64～65

世界各地に工業製品を輸出し、【 ⑨ 】とよばれる沿岸部と内陸部で【 ⑩ 】が広がる

③ **急速に変化する韓国**  
p.66～67

- 【 ⑪ 】という文字を使用
- 首都の【 ⑫ 】に人口が集中

④ **都市化が進む東南アジア**  
p.68～69

- 大農園の【 ⑬ 】で輸出のための作物を生産
- 東南アジアのほとんどの国が【 ⑭ 】に加盟

⑤ **人口増加が続く南アジア**  
p.70～71

- 【 B 】では、人口の約80%が【 ⑮ 】を信仰
- 教育水準の高さから、【 ⑯ 】産業が成長

⑥ **資源が豊富な西アジア・中央アジア**  
p.72～73

- 人口の大部分が【 ⑰ 】を信仰
- 産油国で作る【 ⑱ 】を通して結びつく

地図でまとめたアジア州

**2 探究のステップでふり返ろう** 主体的に学習に取り組む態度

探究のステップ

アジア州では、「経済発展」に注目して学習してきました。

● 60～73ページから次の内容を表す資料を探しましょう。

2 経済発展したことが分かる資料 (ページ) (資料)

2 経済発展による変化や課題が分かる資料 (ページ) (資料)

**ワードチェック** 知識

以下の用語について、どのような意味か、自分の言葉で説明しましょう。うまく説明できない場合は、掲載されていたページをふり返って確認しましょう。

□ モンスーン p.62 □ 雨季 p.62

□ 経済特区 p.64 □ プランテーション p.64

□ 東南アジア諸国連合 (ASEAN) p.68

**3 「見方・考え方」を動かして探究課題に答えよう** 思考・判断・表現 結び付き 地域

地域・国	経済が成長した理由	経済成長による変化と課題
中国	● 外国企業を受け入れる経済特区を設けた。	
韓国	● 高い技術が必要とするハイテク産業を発展させた。	
東南アジア	● 植民地時代からのプランテーションで栽培した商品作物を輸出した。	
南アジア		● 富裕層と貧困層との経済格差が拡大している。
西アジア・中央アジア		

2 経済が成長した理由と、それによる変化や課題についてまとめた例 (途中のもの)

**みんなでチャレンジ**

(1) **グループ活動** 左ページの「探究のステップ」で挙げた資料をグループで発表し合ひましょう。

(2) **個人活動** (1)を基に、それぞれの地域や国で経済が成長した理由と、それによって起きた変化や課題を2に書きこみ、図を完成させましょう。

(3) **個人活動** 完成した表を参考に、経済成長した理由や、それによって起きた変化や課題について、多くの地域に共通する点に線を引きましょう。

**探究課題を解決しよう**

アジア州は

上の2を見ると、多くの地域で経済発展したことで課題が見られることが分かるね。

いくつかの地域を事例に、アジア州の探究課題を自分の言葉でまとめよう。

という特色のある地域です。

**4 地球の課題をふり返ろう**

以下の資料は、アジア州における地球の課題とそれに対する取り組みが読み取れるものです。それぞれがどのような内容なのか、これまでの学習をふり返って説明してみましょう。

成長することで起こっている課題を、どのような取り組みで解決しようとしているのかな。

3 激しい交通渋滞が発生している様子 (タイ バンコク 2018年)

4 高層鉄道が整備された様子 (タイ バンコク 2019年)

### 会話の流れがヒントになる！ 探究課題を解決しよう

自分の言葉で課題の解決に取り組むコーナーです。キャラクターの会話が解決へと導きます。

**探究課題**

探究課題を解決しよう

アジア州は

上の2を見ると、多くの地域で経済発展したことで課題が見られることが分かるね。

いくつかの地域を事例に、アジア州の探究課題を自分の言葉でまとめよう。

という特色のある地域

### 学習をふり返るコーナー

「世界の諸地域」では、資料から地球の課題をふり返るコーナーを設けました。資料から課題を読み取る力を身に付けられます。

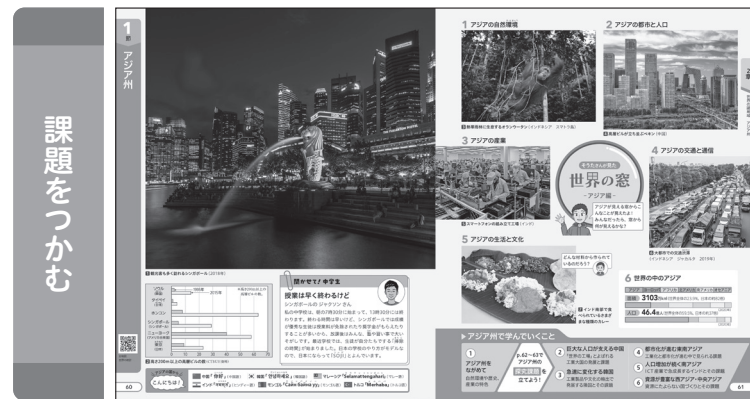
▶ まとめページのQRコンテンツについては、本書p.18～19をご覧ください。



課題解決的な学習にわくわくをプラス！

# 多様なツールで 思考を整理

まとめページでは、自らの **思考を整理するさまざまなツール** を用意しました。  
紙の教科書とQRコンテンツを組み合わせることで、より多様な活動が展開できるようになりました。



## 「新編 新しい社会 地理」に掲載の思考ツール

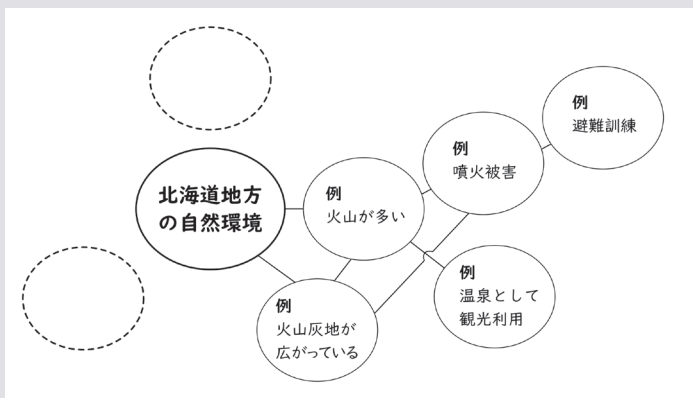
**探究のステップ** 第2章では、日本を「位置や分布」に注目して学習してきました。

① 右ページでは、導入の活動で作った日本の都道府県のクイズカードの「上級編」を作成します。このクイズでは、三つのヒントを使って答えを特定できるようにします。

② 右の図は「ベン図」とよばれるものです。この図を使うと、三つのヒントに当てはまる答えを整理しやすくなります。右ページでは、実際にベン図を活用して、クイズを作成しましょう。

**ベン図とは？** 何かを比べたり、分類したりするとき、共通点や相違点を見つけるのに便利なツールです。

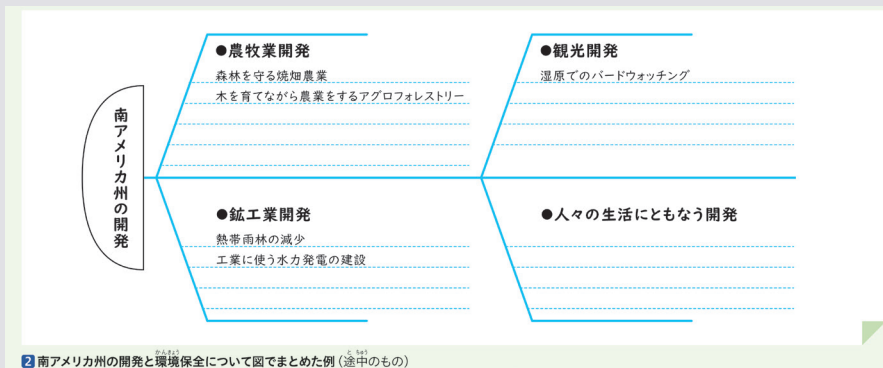
▲ p.33「ベン図」を使った例の解説



### 教科書に掲載の主な「思考ツール」

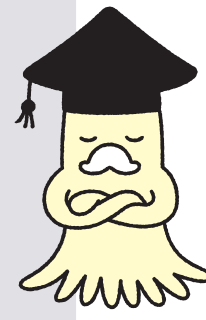
教科書ページ	内容
p.33	ベン図
p.75	マトリックス（表）
p.101	ステップチャート
p.127	フィッシュボーン
p.267	ウェビング
p.275	ステップチャート
p.277	ツールミン図式

▼ p.127「フィッシュボーン」を使ったまとめの例



2 南アメリカ州の開発と環境保全について図でまとめた例（途中のもの）

自分の考えが  
目に見える形になると  
整理しやすくなるの



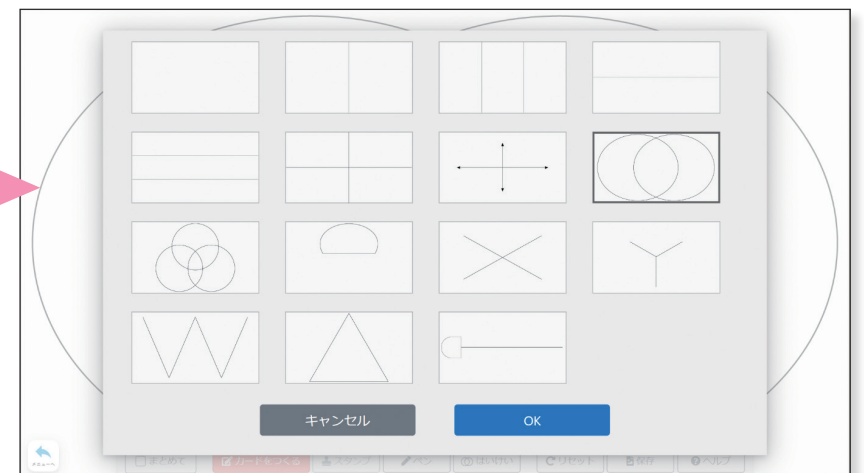
## QRコンテンツでも思考ツールが充実！

教科書に示した思考ツール以外も選択できるので、自分なりの方法で思考を整理することができます。

▶ 本書 p.19もご覧ください。

使いたい  
思考ツールを  
自由に選べる！

こちらから  
実際に  
試せます



付せんのように  
自在に入力！



こちらから  
実際に  
試せます